

事業報告

手話通訳者全体研修



10月29日(土)に NHK 手話ニュースキャスターでもご活躍中の明晴学園の教頭、小野広祐先生をお招きし「手話通訳のあり方」をテーマにお話しいただきました。講義はオンラインで行われ99人の参加がありました。NMM(非手指要素)や CL(類別詞)の表現などの文法を理解することで通訳者が持つ日本手話の情報量が違ってくこと、ろう者は視覚をメインに情報を得ているため聞こえる人とは思考が違うこと、最後は通訳者に考えてほしいことを派遣利用者として貴重なお話しをいただきました。

参加者からは「まずはろう者の文化や思考の特徴を理解していないと、ちょっとした表現でもそれが誤訳に繋がると感じる」「通訳前のコミュニケーション方法の確認は行っていますが、終了後の確認も工夫をしながら行いたい」などの感想がありました。

手話通訳者課題別研修

【介護場面:事例検討】 11月19日(土)、介護保険にかかる事例検討をテーマに、実施し86人が参加しました。介護保険にかかる現場は医療場面に次いで、ニーズが高まっている分野であり、今回はデイサービスと訪問介護の事例を討議しました。『他者の意見を聞き、多様な視点を知る。自身の通訳としての行動の根拠を明確にする。根拠と行動が一致するように考えていく。』という討議目的を説明し、グループに分かれました。



久しぶりの対面での開催であり、グループ内で活発な討議がなされました。参加者からは、「実際の現場での経験に基づいた意見が聞けてとても参考になった」等の感想があり、実りのある研修会となりました。

【実技:ブラッシュアップ研修】 前期(6月1日、7月6日) 後期(10月26日、11月2日)オンラインで行い、延べ38人が参加しました。数見陽子氏(NPO 法人手話教師センター)に講師をお願いし、前期は「コミュニケーション力の向上」、後期は「医療現場でろう者に伝わる手話表現」を目的に指導していただきました。受講者からは「伝えるではなく、伝わる」ことの大切さを改めて感じた。常に自己分析をし、通訳者としてスキルアップしたい。」との感想がありました。手話での伝え方を見直す良い機会となりました。

【実技:読み取り】 登録年数別に派遣場面に合う内容で実施し、延べ54人が出席しました。6月25日には、登録3、4年目を対象に、通訳者としての読みとり力アップを目指しました。手話語りを題材に、通訳者としての日本語選択を考え繰り返し演習しました。11月5日は登録5年目以上で、効果的なフォローを考えることを目的にしました。グループで実践し意見を出し合い、これまでの現場での振り返りと工夫などを共有しました。両研修とも、今後の派遣現場に即つながらる研修となりました。

11月・12月要約筆記者現任研修

11月は全国要約筆記問題研究会から小森講師をお招きしました。手書きでは「共有情報の活用」をテーマに学び、資料等の視覚情報だけでなく既知情報や背景知識も踏まえて活用することや、難聴者がその場に参加するため、という視点が大切だということ改めて気づく研修となりました。

パソコンでは「自己検証」をテーマに、自身の要約の傾向を見直し、話者の意図をつかんだ要約にするための視点について学びました。参加者からは、話の要素と補完情報を意識しながら「聞く」ことが大切だという感想が寄せられました。

12月の手書き研修では、医療場面を中心に、個人のノートテイクについて、グループワークや事例検討を用いた研修を行いました。パソコンでは福祉大会等の複雑な現場で、イレギュラーな出来事に臨機応変に対応できるよう模擬研修を行いました。

事業報告

聴覚障害者対象の健康学習会を行いました

11月18日(金)に、ラポール上大岡と共催で令和4年度第2回聴覚障害者のための健康学習会を開催し、『筋力低下を防ごう』をテーマに講座と軽運動を実施しました。ラポール上大岡の栄養士が筋力低下を防ぐための効果的な食事についての説明をし、次に指導員が筋力をつけるための筋トレのやり方を指導しました。普段運動している方、いない方など、その方の状況に応じたトレーニング方法を指導していただきました。今回も筋力向上に関する活発な質問が出てくるなど、とても盛り上がりました。

次は『骨を強くしよう』がテーマです。2023年1月20日(金)に行います。申込は12月28日まで。参加される方は汗をかくので、飲み物やタオルと動きやすい服装、着替えをご持参ください。

「聞こえと補聴器」の講座に講師派遣しました

11月19日、講座「聞こえと補聴器」(横浜市障害者社会参加推進センター、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市健康福祉局主催)にて、福祉制度や聞こえの相談など当施設の役割についてお話してきました。

要約筆記は病院の受診や趣味のサークル、お子さんの学校行事など生活のあらゆる場面で利用できること、また音声認識アプリの情報提供も行いました。テレビドラマの影響か例年より関心が高い様子が伺えました。

参加報告

聴覚障害者向け

ソフト制作担当職員研修会に参加しました

11月10日(木)と11日(金)の2日間、今年度もオンラインでの開催となりました。

1日目は、元全日本ろうあ連盟理事の小中栄一氏より、令和4年5月25日に公布・施行された『障害者の情報アクセシビリティ・コミュニケーション推進法』とWe・Love・コミュニケーション活動などの取り組みに関する内容での講演、次に川崎市聴覚障害者情報文化センター職員によるICT支援の活動報告、そのあとは各ブロックにてグループワークを行いました。今後はデジタル支援という分野が広がり、情報に取り残される高齢者を減らすことも情提の役割の一つと感じました。

2日目は、「あらためて字幕制作について考える」をテーマに、聴覚障害者情報文化センターの早川代志子氏の講演、午後からは現場での情報を深めるために事前アンケートでそれぞれ希望する内容のグループに分かれ、グループワークを行いました。映像制作の現場での照明の使い方やクロマキーを使う際の照明についてなどをプロから学ぶことができました。法制度の変化や、それに伴う情提の在り方を考えさせられる研修となりました。

全国ろうあ者相談員研修会に参加しました

11月18日(金)19日(土)の2日間、第35回全国ろうあ者相談員研修会・第26回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラムが大阪府にて3年ぶりに参集で開催されました。

初日は厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長小野寺徳子氏より「障害者雇用施策の充実強化について」と題して今後の障害者雇用施策などについて報告がありました。続いて、大阪ろうあ会館労働グループ主任山本朝子氏より「ワーク支援事業とチーム支援」と題して、大阪府独自の「ワークライフ支援事業」についての報告がありました。2日目は、それぞれの分科会にてレポート報告と討議が行われました。参加者が一堂に会して新しい情報を学び、事例をもとに討議することができ、有意義な研修となりました。

映像制作事業

目で聴くテレビ 1月10日火曜日に放映されます！



前回8月に放映した『ご当地検定前編』につづき、来年1月に『ご当地検定後編』が放映されます。

今回も五十嵐由美子氏と情提職員が出演し、横浜ならではの内容となっていますので、ぜひご覧ください。

情報提供

Net119のシステムが変更になります

現在聴覚、言語機能に障害がある方が利用中の「Net119 緊急通報システム」は、令和5年3月31日に、システムが変更されます。

令和5年3月31日以降も引き続き利用するために、令和5年1月16日以降(予定)、横浜市消防局のホームページから登録画面にアクセスして再登録をしていただく必要があります。

登録済の方には、令和5年1月中旬に『再登録手順書』が郵送されますので再登録をしてください。登録方法など、わからないことがあれば、消防局までお問い合わせください。

(検索ワード「文字等による119番通報 横浜市」)

電話リレーサービスによる緊急通報、FAX119通報は今後も利用できます。

横浜ラポールの相談員による登録・再登録のお手伝いを希望の方は、ご連絡ください。

FAX 045-475-2059 メール rapport.soudan@yokohama-rf.jp

出だ！データ！

(12月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月
医療・保健	3,654	60	3,714	4,212
司法	22	8	30	40
教育・保育	495	16	511	332
労働・雇用	393	24	417	404
社会生活	719	26	745	1,205
自己啓発	150	13	163	93
福祉推進	820	731	1,551	1,167
介護保険	1,301	1	1,302	282
他都市	26	2	28	42
合計	7,586	881	8,467	7,777
昨年同月	7,006	771	7,777	

■聴覚障害者の相談

相談事業	実件数	対応数
医療	143	238
職業	37	63
教育	0	0
住宅	22	50
生活	230	348
福祉	204	327
法律	13	37
聞こえ	49	50
合計	698	1,113
昨年同月	534	1,009

■通訳者の現任研修

手話	回数	参加人数
要約筆記	回数	参加人数
		21
		24

■映像・字幕制作

自主制作作品数	数
	50

情報の動き

11月

- 2 手話ブラッシュアップ研修
- 2 出前講座(緑区手話サークル)
- 5 手話課題別研修
- 6 手話通訳養成Ⅲ実習(横聴協)
- 8 休館日・全館電気点検日
- 9 要約筆記現任研修
- 10~11 全聴情協メディア担当者研修会(オンライン)
- 13 手話通訳養成Ⅲ実習(横聴協)
- 15 出前講座(荏田民児協)
- 16 市立ろう特別支援学校 学校運営協議会
- 17 全聴情協理事会(大阪)
- 18 聴覚障害者健康学習会(上大岡 2/3)

18~19 全国ろうあ者相談員研修会(大阪)

- 19 聞こえと補聴器講座
- 19 手話課題別研修
- 20 手話通訳養成Ⅲ実習(横聴協)
- 22 関東ろうあ者相談員連絡会(オンライン)
- 23 ヨコアリくんまつりブース出展
- 24 全聴情協 ヒアリング対応
- 26 講師派遣対応(聴障者を守る会)
- 27 県ろうあ者大会(港南区公会堂)
- 29 手話登録試験委員会(横聴協)

12月

- 3 手話登録試験
- 7 横須賀市立ろう学校中学部職場見学対応
- 8 消防局打合せ
- 14 市業務監査
- 14 要筆現任研修
- 13 休館日・機器点検
- 19 ラポール運営委員会
- 19 浜の会茶話会(神奈川ろうヘルパー連絡会かもめの会)
- 21 西区社会福祉協議会主催「手話入門講座」職員派遣
- 23 手話講習会運営委員会(横聴協)
- 28~1/4 ラポール休館
- 29~1/3 情報休業

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和4年12月28日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>